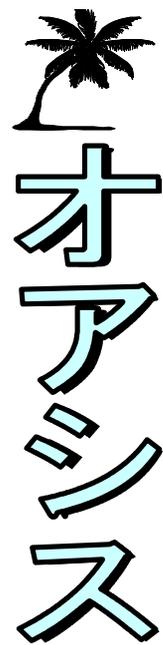


趣旨を守ろう技能実習制度

日立ジョンソンコントロールズ空調
と関連会社で働く
人のネットワーク



2018年9・10月
No. 78
発行：オアシス
編集委員会
連絡先：多田義幸
TEL
090-9121-0602

外国人技能実習制度とは

外国人技能実習制度とは、国際貢献のため、開発途上国等の外国人を日本で一定期間（最長5年間）に限り受け入れ、OJTを通じて技能を移転する制度です。技能実習生は、入国直後の講習期間以外は、雇用関係の下、労働関係法令等が適用されており、現在全国に約27万人が在留しています。

入国後は、講習（座学）が原則2か月間実施（雇用関係なし）され、その後実習となります（雇用関係あり）。1年目の実習が終了後、日本の技能検定基礎級相当に合格する等所定の要件を満たした場合に、更に2年間滞在することが可能となります。

そして昨年11月から施行された新制度では、3年経過後、技能検定3級相当に合格した者は、一旦帰国後（1ヶ月以上）、更に2年間の実習が認められ、合計5年間の受け入れが可能となりました。

日立で不正行為が！

制度の本来の目的は、開発途上地域等の経済発展を担う「人づくり」に協力するということですが、目的に反することが行われています。

日立製作所笠戸事業所で、外国人技能実習生が目的の技能を学ぶことができない作業に従事させられている疑いがあるとして、法務省が今年の7月、同事業所を検査しました。配電盤や制御盤を作る「電気機器組み立て」の習得のために働いている複数の実習生が、新幹線の車両に、窓や排水パイプ、カーペットやトイレ

レを取り付ける作業しかしていませんでした。法務省は、1年目に必須業務を一切させない場合は不正行為にあたるかとみています。

「建前」と「本音」が違う？

国際貢献のための「人づくり」が制度の建前です。だが、実習生を受け入れる現場の多くでは、労働力として活用されている場合が多いです。

実習生が法律で定められた最低賃金を下回る時給で働かされるなどの不正行為も多発しています。実習制度が、あるべき姿で運用されることが求められます。

日立ジョンソンコントロールズ空調清水事業所においても、外国人実習生は増加しているため、目的の趣旨に反しないよう注意が必要です。

「女性同士でも、セクハラになる?!」

職場でのセクハラといえば、男性から女性に対するイメージが強いと思いますが、実は女性同士でもセクハラになることがあります。

「結婚しないの?」・「子供は、まだなの?」・彼氏の職業や出会い等を執拗に聞いてくる等、女性同士だから大丈夫だと気安く考えていても、セクハラになることがあります。

自分の発言に対して相手がどう思うか、不快な思いをさせていないかという気配りが必要です。